

Quest NetVault 13.1.x

簡単設定ガイド



取扱上の制約

Copyright © 2018 Quest Software Inc. All rights reserved.

NetVault 13.1 簡単設定ガイド Revision 1.0 (2023 年 5 月)

本ガイドは、NetVault を初めてご使用される方を対象とし、NetVault のインストールから、デバイス設定方法、バックアップ/リストアまで、基本的な操作方法について簡単に説明しています。本ガイドで使用している NetVault バージョンは 13.1.2.9 です。

NetVault 設定に関する詳細は、「NetVault 13.1.2 Administrator's Guide」他、各種操作ガイドをご覧ください。各種操作ガイドは、弊社 WEB サイトからダウンロードいただけます。

<https://support.quest.com/ja-jp/NetVault/13.1.2/technical-documents>

※本簡単設定ガイドでは、NetVault 13.1.2 の Linux x86 (Pure 64)版と Windows x86 (Pure 64)版のインストール方法のみ説明しています。その他の OS のインストール方法は、ご利用の NetVault バージョンの Installation Guide をご覧ください。

注意：本ガイドに記載されている画像等は、編集されている場合がございます。実際の画像と若干異なることもあることをご了承ください。

本ガイドは次の NetVault バージョンに対応しています。

- NetVault 13.1.x



改版履歴

変更日付	リビジョン	変更箇所	変更内容
2023/5	1.0	-	初版

目次

第1章：NetVault サーバーのインストール

1-1. インストール要件

1-2. Linux x86 (Pure64) 版のインストール

1-3. Windows x86 (Pure64) 版のインストール

第2章：クライアントのインストール

2-1. Linux x86 (Pure64) 版のインストール

2-2. Windows x86 (Pure64) 版のインストール

第3章：NetVault Console を起動する

第4章：NetVault クライアントを NetVault サーバーに追加する

4-1. NetVault クライアントを追加する

第5章：バックアップ装置の設定を行う

5-1. 仮想テープライブラリを使用する

5-2. オートローダ/テープ ライブラリを使用する

第6章：バックアップ・リストアを行う

6-1. バックアップジョブを作成する

6-2. リストアジョブを作成する

第7章：ライセンスの登録方法

7-1. ライセンスの登録

第1章 : NetVault サーバーのインストール

NetVault ソフトウェアのインストール方法は、OS により異なります。本簡単設定ガイドでは、Linux x86(Pure64)版, Linux x86(Hybrid)版, Windows x86(32/64-bit)版のインストール方法のみ説明します。

その他 OS の NetVault ソフトウェアをインストールする場合は、「Quest NetVault 13.1.2 Installation Guide」をご覧ください。

「Quest NetVault 13.1.2 Installation Guide」は、弊社の下記 web サイトでご覧いただけます。

<https://support.quest.com/ja-jp/NetVault/13.1.2/technical-documents>

1-1. インストール要件

NetVault Server システム要件

OS	CentOS Debian Oracle Linux RHEL SLES Windows Server
----	--

サポートされる OS および OS バージョンの最新情報は次の URL ご参照ください。

<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/netvault/current%20version/compatibility-guide>

PDF が必要な場合は、上記 URL を表示して右上の [ダウンロード] ボタンをクリックしてください。



メモリ	12GB 以上推奨
プロセッサ	2.5Ghz Dual-socket, 4 Core 以上推奨

システム要件につきましては以下をご参照ください。

<https://support.quest.com/ja-jp/download/downloads?id=6112857>



ストレージ Linux – 800MB
Windows - 800MB
NetVault Database – Database のサイズは、ファイルをバックアップすると、
1 ファイル/ディレクトリ当たり、71 バイト+ファイルの絶対パス長（バイト） 増えていきます。
（例） 平均絶対パス長が 29 バイトの場合、1 保持ファイル/ディレクトリ当たり
100 バイト増えていきます。

Windows 要件 Microsoft Visual C++ 2010SP1 再頒布可能パッケージ
Microsoft Visual C++ 2013 再頒布可能パッケージ
NetVault インストールファイルに同梱されておりますので、未インストールの場合、
インストールプロセス中にポップアップが表示され、インストールすることができます。

Linux 要件 Linux のインストール要件は御使用になるディストリビューションや x86, または x86_64 なのかにより
異なります。詳しくは以下をご参照ください。
<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/netvault/13.1.2/installation-guide>

ブラウザ Microsoft Edge 44 以降
FireFox 20 以降
Chrome 28 以降

NetVault Client システム要件

OS Linux
Windows
Mac OS
Solaris
HP-UX
AIX
FreeBSD
対応 OS 詳細につきましては、以下 URL をご参照ください。また、本ガイドでは、
基本的に Linux と Windows 環境のみについて記述しております。
<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/netvault/current%20version/compatibility-guide>



1-2. Linux x86 (Pure64) 版のインストール

ここでは、Linux 版 NetVault サーバーのインストールについて説明します。

1 管理者アカウント (root) でログオンします。

2 インストール・ファイルのトライアルバージョンは、弊社 Web サイトからダウンロード可能です

評価期限 30 日(期限を延長したい場合は弊社 SE にご相談ください)

<https://www.quest.com/jp-ja/register/55545>

タイトル名	掲載日	バージョン	ダウンロード
NetVault Backup Server and Client Distribution for Windows (32/64-bit)			と
NetVault Backup Server Distribution for Linux x86 (Hybrid 32/64-bit Build)			と
NetVault Backup Server Distribution for Linux x86 (Pure 64-bit Build)			と
NetVault Backup Client Distribution for Linux x86 (Hybrid 32/64-bit Build)			と
NetVault Backup Client Distribution for Linux x86 (Pure 64-bit Build)			と

3 Linux 版 NetVault Server のインストール・ファイルを実行するために、実行権限の付与を行います。

①実行権限を付与します

```
>chmod +x ./netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Server-LinuxX86Pure64
```

②インストール・ファイルを実行します

```
>./netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Server-LinuxX86Pure64  
-mode text
```

③最初に言語の選択をします。

[5] Japanese - 日本語 (Default) を選択します

```
[root@lnx-bksrv nv_bin]# ls -l  
合計 407752  
-rw-r--r-- 1 root root 417536885 5月 10 10:23 netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Server-LinuxX86Pure64  
[root@lnx-bksrv nv_bin]# chmod +x netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Server-LinuxX86Pure64  
[root@lnx-bksrv nv_bin]# ls -l  
合計 407752  
-r-xr-xr-x 1 root root 417536885 5月 10 10:23 netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Server-LinuxX86Pure64  
[root@lnx-bksrv nv_bin]# ./netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Server-LinuxX86Pure64 --mode text  
言語の選択
```

インストールする言語を選択してください

- [1] English - English
- [2] Simplified Chinese - 简体中文
- [3] French - Francais
- [4] German - Deutsch
- [5] Japanese - 日本語
- [6] Korean - 한국어

オプションを選択してください [5]:

4 NetVault サーバーに必要なセットアップタイプを選択します。

[1] 標準: を選択します。

ようこそ NetVault セットアップウィザードへ。

警告:

この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この製品の全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると著作権の侵害となりますのでご注意ください。

セットアップタイプ

NetVault サーバーに必要なセットアップのタイプを選択してください

- [1] 標準: スタンドアロンモードで使用する NetVault を有効にします。
- [2] 管理対象サービスプロバイダ: サービスとしてバックアップ モードで使用する NetVault を有効にします。オプションを選択してください [1]:

Quest
Join the Innovation.

5 NetVault ソフトウェアの使用許諾契約の内容を確認して

同意します。

使用許諾契約の内容確認のため、**[Enter]** キーを押し、

「使用許諾契約に同意」が表示されるまで進めます。

次の使用許諾契約をお読みください。ソフトウェアのインストールを続けるには、使用許諾契約に同意する必要があります。
続けるには **[Enter]** キーを押してください :

(m) 完全なる合意
本契約は、本契約の対象に関する当事者らの最終的な合意として当事者らにより意図されており、当事者間の従前又は同時期の合意が当事者らによって署名されていない限り、かかる合意の存在により否定されません。かかる合意がない場合、本契約及び該当する署名付きオーダー又は契約条件記載見積書は本契約の対象にかかる諸条件を完全に記載した唯一の書面となり、本契約にかかる訴訟または仲裁手続においては本契約に関してこれ以外のいかなる証拠も提出されないものとします。各当事者は、本契約を締結するにあたり、本契約に明示的に定められた以外の記述、表明、確証又は保証(過失又は無知によるかを問いません。)に依拠したことがなく、またこれらに関して何らの権利又は救済も有していないことを認めます。法律又は規制によって本契約又はオーダーなどの契約書について、(ファックス、電子的手段若しくはスキャンによらない)原本や(電子署名ではなく)直筆の署名が要求される管轄においては、かかる法律又は規制にかかわらず、両当事者はここに、本契約又はオーダーの電子的手段又はスキャンによる写し、及び本契約又はオーダーへの認定電子署名が執行可能且つ有効な契約の作成のために十分であることに合意します。本契約の条件とオーダーに記載の条件が相反する場合は、署名付きオーダー又は契約条件記載見積書の条件が優先します。その他の全てのオーダーについては、本契約の条件とオーダーに記載される条件が相反する場合、本契約の条件が優先します。本契約又はオーダーのいずれも、各当事者の適法な権限のある代表者が署名した書面による場合を除いて、修正又は変更されません。その他いかなる行為、文書、本契約若しくはオーダーの利用又は慣習も、本契約又はオーダーを修正又は変更するものとはみなされません。

続けるには **[Enter]** キーを押してください :

使用許諾契約に同意しますか? [y/n]: y

使用許諾契約に同意であれば **[y]** を入力し **[Enter]** キーを

押します。

6 NetVault をインストールするディレクトリを指定します。

デフォルト「/usr/netvault」で良ければ **[Enter]** キーを

押します。

NetVault のインストール先ディレクトリを指定してください。

インストールディレクトリ [/usr/netvault]:

7 NetVault マシン名を指定します。

デフォルトではインストールしているマシンのホスト名が表示されます。

デフォルトのホスト名で良ければ **[Enter]** キーを押します。

このマシンでの NetVault 名を選択してください。

注意: NetVault のマシン名は、大文字(A-Z)、小文字(a-z)、数字(0-9)、ハイフン("-")、アンダースコア("_")、およびピリオド(".")を含む、最大 63 文字が使用できます。

マシン名 [lnx-bksrv]:

8 NetVault パスワードを登録します。

「パスワード」にパスワードを入力し **[Enter]** キーを押します。

続いて、「パスワード再入力」に最初に入力したものと完全に

一致するパスワードを入力し **[Enter]** キーを押します。

マシンのパスワード

このマシンの NetVault パスワードを入力してください。

メモ: パスワードは 100 文字を超えることができず、特殊文字(¥)と空白文字を含むことができません。

パスワード :
パスワード再入力 :

9 NetVault の PostgreSQL データベースディレクトリを指定します。

デフォルトで良ければ **[Enter]** キーを押します。

NetVault データベースディレクトリ

NetVault データベースを保存するディレクトリを指定してください。
データベースは大規模になる可能性があります。

データベースディレクトリ [/usr/netvault/db]:

10 PostgreSQL データベースのユーザアカウントのオプション指定します。
「 [1] PostgreSQL Linux ユーザの作成の許可 」を
選択するため、[1] または **[Enter]** キーを押します。

```
-----  
PostgreSQL Linux user account  
-----  
PostgreSQL で PostgreSQL  
処理を実行するには、別のユーザーアカウントが必要です。このユーザーアカウントでは、  
サーバで管理されるデータのみを所有し、その他のデーモンとは共有しないでください。  
-----  
PostgreSQL Linux ユーザーアカウントのオプションを指定  
  
[1] NetVault で ユーザーの作成を許可  
[2] Linux ユーザー名  
オプションを選択してください [1]:  
  
NetVault で ユーザーの作成を許可
```

11 PostgreSQL データベーススーパーユーザーのパスワードを
登録します。
「パスワード」にパスワードを入力し **[Enter]** キーを押します。
続いて、「パスワード再入力」に最初に入力したものと完全に
一致するパスワードを入力し **[Enter]** キーを押します。

```
-----  
PostgreSQL データベーススーパーユーザーのパスワード  
-----  
NetVault の PostgreSQL データベーススーパーユーザー(postgres)のパスワードを入力してください。  
  
メモ: パスワードは 100 文字を超えることができず、特殊文字(¥)と空白文字を含むことができません。  
  
パスワード :  
パスワード再入力 :
```

12 NetVault Server インストール用入力内容が表示されます。
入力内容が正しければ **[Enter]** キーを押します。

```
-----  
インストールする準備ができました  
-----  
コンピュータで、NetVault のインストールを開始するセットアップの準備が整いました。  
下の情報を見て、正しいことを確認してください。  
  
セットアップタイプ: 標準  
インストールディレクトリ: /usr/netvault  
データベースディレクトリ: /usr/netvault/db  
マシン名: lnx-bksrv  
  
続けるには [Enter] キーを押してください :
```

13 NetVault Server のインストールが開始されます。

しばらくお待ちください。NetVault Backup をお使いのコンピュータにインストール中です。

インストール中
0% _____ 50% _____ 100%
#####

```
NetVault ライブラリへのリンクの作成
NetVault 設定のアップデート
NetVault サーバライセンスのインストール
プラグインのインストール aes-13-0-0-5-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール aesfips-13-1-0-11-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール audtl-13-0-1-3-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール cli-13-1-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール con-13-0-0-7-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール cpy-13-1-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール cst-13-0-0-2-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール cst2-13-0-0-2-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール ddv-13-0-0-2-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール dvx-13-0-0-1-AnyPlatform.npk
プラグインのインストール dvy-13-0-0-1-AnyPlatform.npk
プラグインのインストール dvz-13-0-0-1-AnyPlatform.npk
プラグインのインストール nty-13-0-3-5-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール nvd-13-0-0-5-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール mvf-13-0-1-5-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール raw-13-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール rda-13-1-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール rpt-13-0-3-5-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール snm-13-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール ver-13-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
NetVault マシンパスワードの設定
PostgreSQL を設定しています: 準備中
PostgreSQL を設定しています: データベースクラスターの初期化
PostgreSQL を設定しています: 設定のアップデート
PostgreSQL を設定しています: サービスの作成
NetVault 設定のアップデート
PostgreSQL を設定しています: サービスを起動中
NetVault サービスのインストール
NetVault サービスの開始
アンインストールを作成中
#
```

セットアップウィザードによる NetVault のインストールが完了しました。

14 NetVault サーバーのインストール後にデーモン動作を確認します。

> ps -ef | grep nv

を実行して NetVault デーモンプロセスを確認します。

```
[root@lnx-bksrv nv_bin]# ps -ef | grep nv
root      2967      2    0 14:41 ?        00:00:00 [xfs-conv/dm-0]
root      5134      2    0 14:41 ?        00:00:00 [xfs-conv/sda1]
root      8148    6159    0 14:41 ?        00:00:00 gdm-session-worker [pam/gdm-launch-environment]
root      17464      1    0 15:18 pts/0    00:00:00 /usr/netvault/bin/nvpmgr
root      17466    17464    0 15:18 pts/0    00:00:00 nvcmgr 2
root      17470    17464    0 15:18 pts/0    00:00:00 nvnmgr 3
root      17471    17464    0 15:18 pts/0    00:00:00 nvavp 8
root      17507    17464    0 15:18 pts/0    00:00:00 nvlogdaemon 7
root      17516    17464    0 15:18 pts/0    00:00:00 nvstatsmgr 9
root      17519    17464    0 15:18 pts/0    00:00:00 nvrepdbmgr 10
root      17523    17464    0 15:18 pts/0    00:00:00 nvmedmgr 4
root      17535    17464    0 15:18 pts/0    00:00:00 nvsched 5
root      17554    17464    0 15:18 pts/0    00:00:00 nvconsolesvc 15
root      17569    17464    0 15:18 pts/0    00:00:00 nvwsrequesthandler 14
root      17574    17464    0 15:18 pts/0    00:00:00 nvdeploymentmgr 17
root      17601    17464    0 15:18 pts/0    00:00:00 nvwpview 18
root      17604    17464    0 15:18 pts/0    00:00:00 nvcatalogmgr 19
root      18361    17464    0 15:19 pts/0    00:00:00 nvcatalogwkr 126
root      18363    17021    0 15:19 pts/0    00:00:00 grep --color=auto nv
[root@lnx-bksrv nv_bin]#
```



1-3. Windows x86 (Pure64) 版のインストール

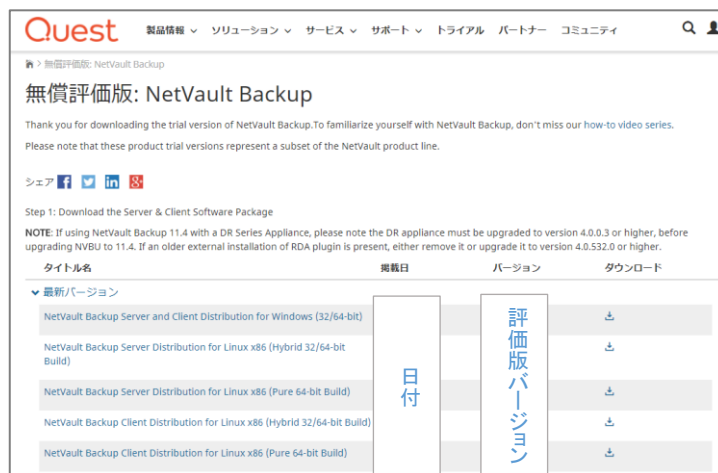
ここでは、Windows 版 NetVault サーバーのインストールについて説明します。

1 管理者アカウント (administrator) でログオンします。

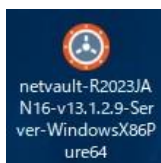
2 インストール・ファイルのトライアルバージョンの入手は、
弊社 Web サイトからダウンロード可能です

評価期限 30 日(期限を延長したい場合は弊社 SE にご相談ください)

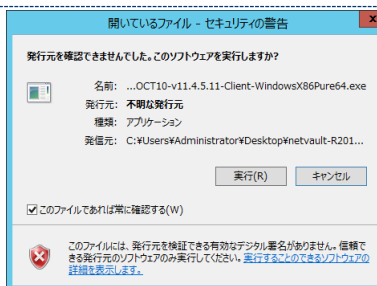
<https://www.quest.com/jp-ja/registert/55545>



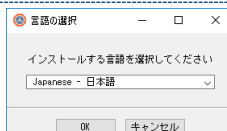
トライアルページから NetVault を選択し、NetVault Server Distribution for Windows のダウンロードを行います。ダウンロードしたファイルが配置されているディレクトリに移動し、
<netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Server-WindowsX86Pure64.exe>ファイルを実行します。



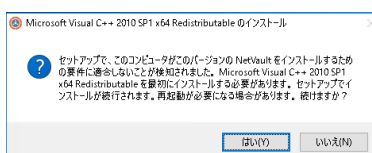
3 exe を実行すると右画面のポップアップがでる場合があります。
ポップアップで出た場合は【実行】をクリックします。



4 最初に言語の選択をします。[OK] をクリックします。

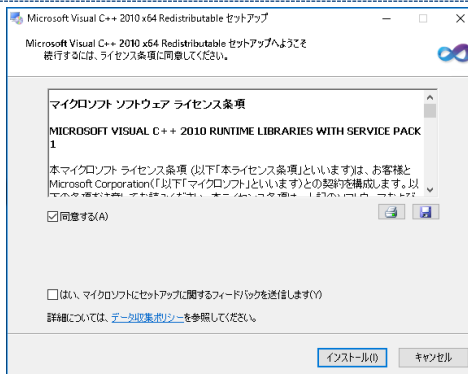


5 インストール要件チェックが行われ、右画面のポップアップが出た場合は【はい】をクリックします。



Quest
Join the Innovation.

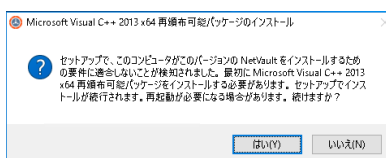
インストール要件となる Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable のセットアップ画面が出ますので、
[同意する] にチェックして [インストール] をクリックします。



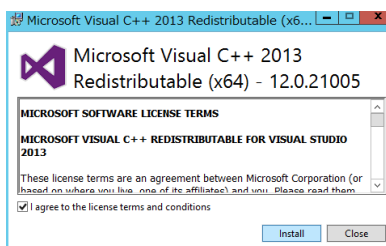
Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable のインストールが完了したら [完了] をクリックします。



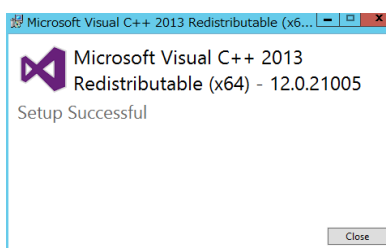
6 続いて、右図画面のポップアップが出た場合は [はい] をクリックします。



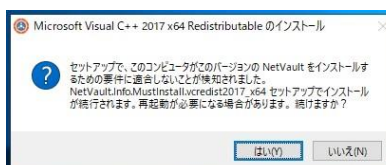
インストール要件となる Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x64) のセットアップ画面が出ますので、
[I agree to the license terms and conditions] にチェックして [Install] をクリックします。



Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x64) のインストールが完了したら [Close] をクリックします。



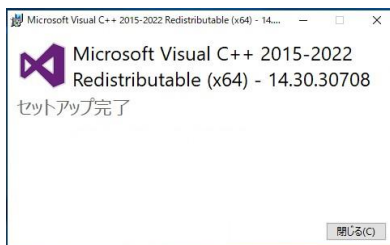
7 続いて、右図画面のポップアップが出た場合は [はい] をクリックします。



インストール要件となる Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) のセットアップ画面が出ますので、
[ライセンス条項および使用条件に同意する] に
チェックして [インストール] をクリックします。



Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) の
インストールが完了したら [閉じる] をクリックします。

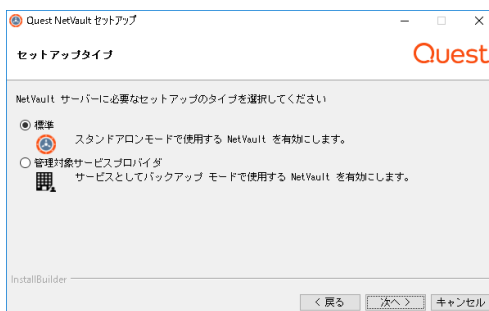


8 インストール・ウィザードが開始されます。
このウィンドウに記載されている注意を良くよんでから
[次へ] をクリックして次に進みます。

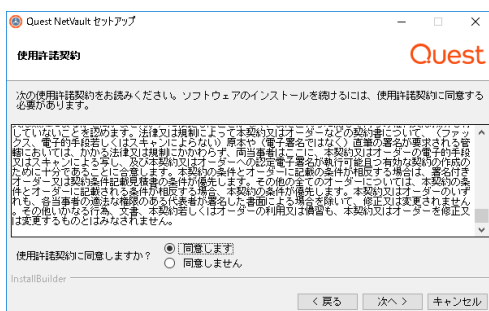


9 NetVault サーバーに必要なセットアップタイプを選択します。

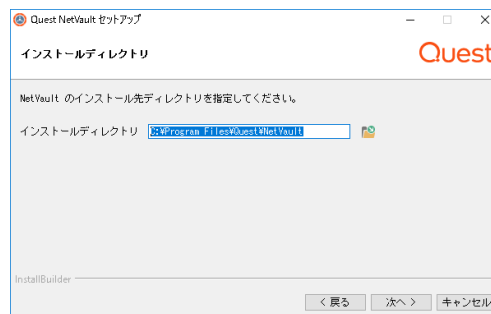
本環境では、[標準] を選択して、
[次へ] ボタンをクリックして、次に進みます。



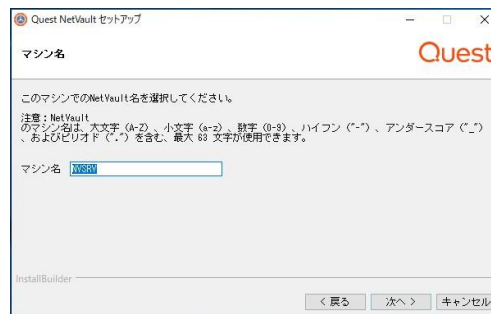
10 「使用許諾契約」の内容を掲載したウィンドウが表示されます。
この情報を読んで [同意します] を選択してから
[次へ] ボタンをクリックして、次に進みます。



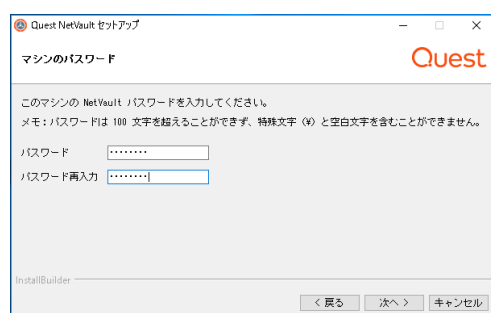
- 11 使用許諾契約書に同意したら、
「インストールディレクトリ」ウィンドウが表示されます。
NetVault のインストール先のディレクトリを指定します。
デフォルトのディレクトリで良ければ [次へ] をクリックします。



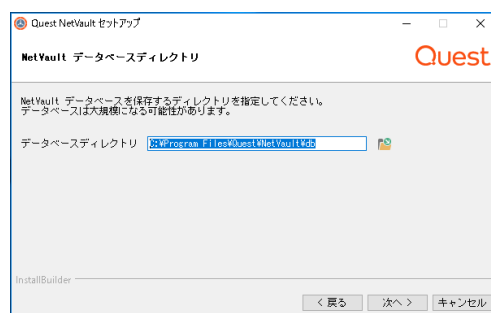
- 12 「マシン名」ウィンドウが表示されます。
NetVault マシン名を指定します。
デフォルトではインストールしているマシンのホスト名が表示されます。
必要であれば変更を加え [次へ] をクリックします。



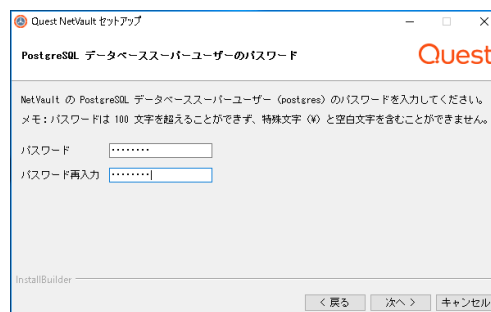
- 13 「マシンのパスワード」ウィンドウが表示されます。
[パスワード] フィールドにパスワードを入力します。
続いて、[パスワードの再入力] フィールドに最初に入力したものと
完全に一致するパスワードを入力します。
[次へ] をクリックして、次に進みます。



- 14 「NetVault データベースディレクトリ」ウィンドウが表示されます。
このウィンドウでは、NetVault データベースを格納するディレクトリ名を
指定します。
デフォルトで表示されているディレクトリで良ければ [次へ] を
クリックして、次に進みます。

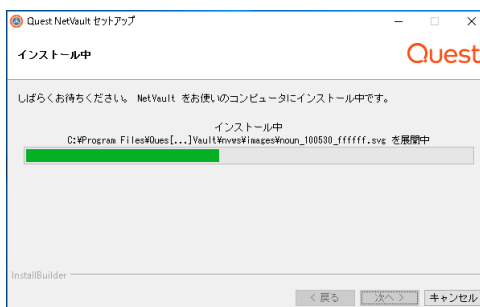


- 15 「PostgreSQL データベースのスーパーユーザーのパスワード」
ウィンドウが表示されます。NetVault データベース用パスワードを
登録します。
[パスワード] フィールドにパスワードを入力します。
続いて、[パスワードの再入力] フィールドに最初に入力したものと
完全に一致するパスワードを入力します。
[次へ] をクリックして、次に進みます。

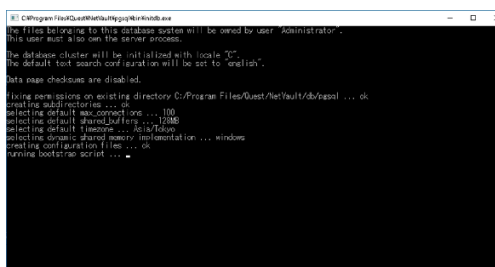


16 「インストールする準備ができました」ウィンドウが表示されます。

[次へ] を選択してインストールを開始します。



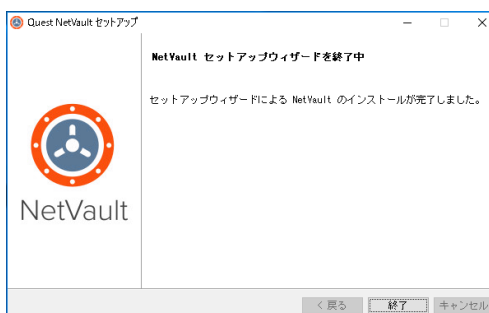
インストールの途中でコマンドプロンプトが現れます。



17 NetVault のインストールが終了すると、

「セットアップを終了中」ウィンドウが表示されます。

[終了] を選択して終了します。



第2章：クライアントのインストール

NetVault クライアント(=1 台の NetVault サーバーからバックアップ対象マシンとして管理されるマシン) には、NetVault クライアント・モジュールをインストールします。インストールの方法は、「第 1 章：NetVault サーバーのインストール」とほぼ同じです。

2-1. Linux x86 (Pure64) 版のインストール

ここでは、Linux 版 NetVault クライアントのインストールについて説明します。

1 管理者アカウント (root) でログインします。

2 インストール・ファイルのトライアルバージョンは、弊社 Web サイトからダウンロード可能です

<https://www.quest.com/jp-ja/registert/55545>

評価期限 30 日(期限を延長したい場合は弊社 SE にご相談ください)

3 Linux 版 NetVault Client インストール・ファイルの実行するために、実行権限の付与を行います。

> **chmod +x** ./netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Client-LinuxX86Pure64

```
[root@lnxhost nv_bin]# ls -l
合計 140800
-rw-r--r-- 1 root root 144176740  5月 10 10:02 netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Client-LinuxX86Pure64
[root@lnxhost nv_bin]# chmod +x netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Client-LinuxX86Pure64
[root@lnxhost nv_bin]# ls -l
合計 140800
-r-xr-xr-x. 1 root root 144176740  5月 10 10:02 netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Client-LinuxX86Pure64
```

4 インストールを実行します。

> ./netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Client-LinuxX86Pure64 **--mode text**

言語の選択を行います。

[5] Japanese – 日本語 (Default) を選択します。

```
[root@lnxhost nv_bin]# ./netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Client-LinuxX86Pure64 --mode text
言語の選択
```

インストールする言語を選択してください

[1] English - English
[2] Simplified Chinese - 简体中文
[3] French - Francais
[4] German - Deutsch
[5] Japanese - 日本語
[6] Korean - 한국어

オプションを選択してください [5]:

5 NetVault ソフトウェアの「使用許諾契約」の内容確認と同意を行います。

使用許諾契約の内容確認のために **[Enter]** キーを押し、「使用許諾契約に同意」が表示されるまで進めます。

ようこそ NetVault Backup セットアップウィザードへ。

警告:

この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この製品の全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると著作権>の侵害となりますのでご注意ください。

次の使用許諾契約をお読みください。ソフトウェアのインストールを続けるには、使用許諾契約に同意する必要があります。

続けるには **[Enter]** キーを押してください:

6 使用許諾契約に同意であれば **[y]** を入力し **[Enter]** キーを押します。

続けるには **[Enter]** キーを押してください:

使用許諾契約に同意しますか? [y/n]: y

Quest
Join the Innovation.

7 NetVault インストール先ディレクトリを指定します。
デフォルトの「/usr/netvault」で良ければ **[Enter]** キーを押します。

NetVault のインストール先ディレクトリを指定してください。
インストールディレクトリ [/usr/netvault]:

8 NetVault マシン名を指定します。
デフォルトではインストールしているマシンのホスト名が表示されます。
デフォルトのホスト名で良ければ **[Enter]** キーを押します。

このマシンでの NetVault 名を選択してください。
注意: NetVault のマシン名は、大文字 (A-Z)、小文字 (a-z)、数字 (0-9)、ハイフン ("-")、アンダースコア ("_")、およびピリオド (".") を含む、最大 63 文字が使用できます。
マシン名 [lnxhost]:

9 NetVault パスワードを登録します。
「パスワード」にパスワードを入力し **[Enter]** キーを押します。
続いて、「パスワード再入力」に最初に入力したものと完全に一致するパスワードを入力し **[Enter]** キーを押します。
ここで登録したパスワードは、クライアント追加時などで使用しますので、忘れないようにしてください。

マシンのパスワード
このマシンの NetVault パスワードを入力してください。
メモ: パスワードは 100 文字を超えることができず、特殊文字 (\$) と空白文字を含むことができません。
パスワード :
パスワード再入力 :

10 NetVault Client インストール用入力内容が表示されます。
入力内容が正しければ **[Enter]** キーを押します。

インストールする準備ができました
コンピュータで、NetVault のインストールを開始するセットアップの準備が整いました。
下の情報を見て、正しいことを確認してください。
インストールディレクトリ: /usr/netvault
マシン名: lnxhost
続けるには [Enter] キーを押してください :

11 NetVault Client のインストールが開始されます。

```
プラグインのインストール aes-13-0-0-5-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール aesfips-13-1-0-11-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール audtl-13-0-1-3-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール cli-13-1-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール con-13-0-0-7-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール cpy-13-1-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール cst-13-0-0-2-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール cst2-13-0-0-2-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール ddv-13-0-0-2-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール dvx-13-0-0-1-AnyPlatform.npk
プラグインのインストール dvy-13-0-0-1-AnyPlatform.npk
プラグインのインストール dvz-13-0-0-1-AnyPlatform.npk
プラグインのインストール nty-13-0-3-5-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール nvf-13-0-1-5-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール raw-13-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール rda-13-1-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール rpt-13-0-3-5-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール snm-13-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
プラグインのインストール ver-13-0-0-1-LinuxX86Pure64.npk
NetVault マシンパスワードの設定
NetVault サービスのインストール
NetVault サービスの開始
アンインストールを作成中
#
セットアップウィザードによる NetVault のインストールが完了しました。
```

12 NetVault Client インストール後にデーモン動作を確認します。
> ps -ef | grep nv
で NetVault デーモンプロセスを確認します。

```
[root@lnxhost nv_bin]# ps -ef | grep nv
root      478      2   0 14:34 ?        00:00:00 [xfs-conv/dm-0]
root      691      2   0 14:34 ?        00:00:00 [xfs-conv/sda1]
root      1594    1106  0 14:34 ?        00:00:00 gdm-session-worker [pam/gdm-launch-environment]
root      2655      1   0 15:26 pts/0    00:00:00 /usr/netvault/bin/nvpmgr
root      2657    2655   0 15:26 pts/0    00:00:00 nvcmgr 2
root      2661    2655   0 15:26 pts/0    00:00:00 nvnmgr 3
root      2662    2655   0 15:26 pts/0    00:00:00 nvstatsmgr 9
root      2689    2655   0 15:26 pts/0    00:00:00 nvconsolevc 15
root      2696    2655   0 15:26 pts/0    00:00:00 nvwpview 18
root      2754    1947   0 15:30 pts/0    00:00:00 grep --color=auto nv
[root@lnxhost nv_bin]#
```



2-2. Windows x86 (Pure64) 版のインストール

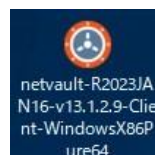
ここでは、Windows 版 NetVault クライアントのインストールについて説明します。

1 管理者アカウント (administrator) でログオンします。

2 インストール・ファイルのトライアルバージョンの入手は、弊社 Web サイトからダウンロード可能です。

<https://www.quest.com/jp-ja/registert/55545>

トライアルページから NetVault を選択し、NetVault Client Distribution for Windows のダウンロードを行います。ダウンロードしたファイルが配置されているディレクトリに移動し、<netvault-R2023JAN16-v13.1.2.9-Client-WindowsX86Pure64.exe> ファイルを実行します。



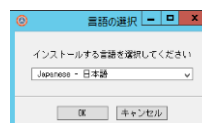
3 exe を実行すると右画面のポップアップが表示される場合があります。

ポップアップで出た場合は【実行】をクリックします。



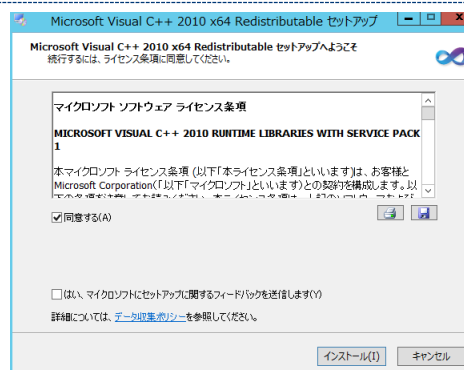
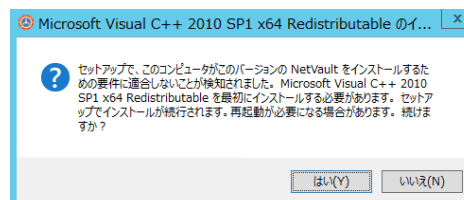
4 最初に言語の選択をします。

デフォルトで「Japanese - 日本語」が表示されます。そのまま【OK】をクリックします。

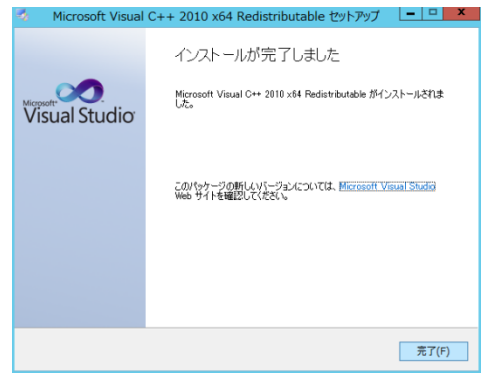


5 インストール要件チェックが行われ、右画面のポップアップが出た場合は【はい】をクリックします。

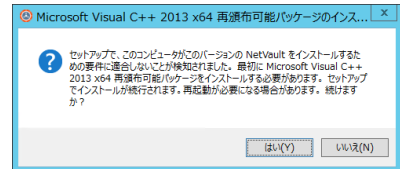
インストール要件となる Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable のセットアップ画面が出ますので、【同意する】にチェックして【インストール】をクリックします。



Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable のインストールが完了したら、
[完了] をクリックします。

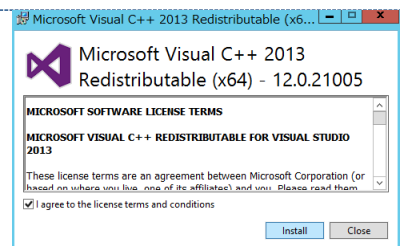


6 続いて、右画面のポップアップが出た場合は [はい] をクリックします。

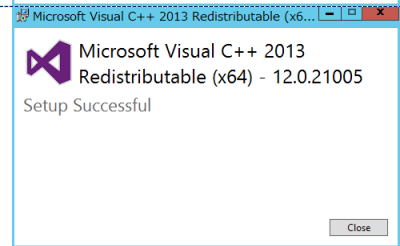


インストール要件となる Microsoft Visual C++ 2013 x64 Redistributable の
セットアップ画面が出ますので、

[I agree to the license terms and conditions] にチェックして
[Install] をクリックします。



Microsoft Visual C++ 2013 x64 Redistributable のインストールが完了したら、
[Close] をクリックします。



7 続いて、右図画面のポップアップが出た場合は [はい] をクリックします。



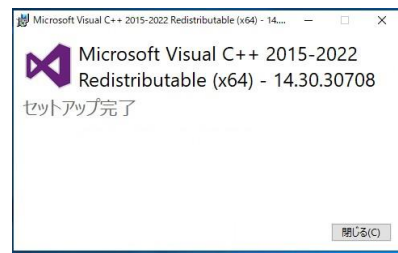
インストール要件となる Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) の
セットアップ画面が出ますので、

[ライセンス条項および使用条件に同意する] に
チェックして [インストール] をクリックします。



Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) の

インストールが完了したら [閉じる] をクリックします。



8 インストール・ウィザードが開始されます。

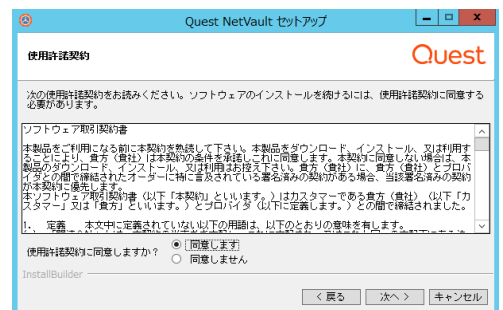
このウィンドウに記載されている注意を良くよんでから [次へ] をクリックして次に進みます。



9 「使用許諾契約」の内容を掲載したウィンドウが表示されます。

この情報を読んで、[同意します] を選択し、[次へ] をクリックして次に進みます。

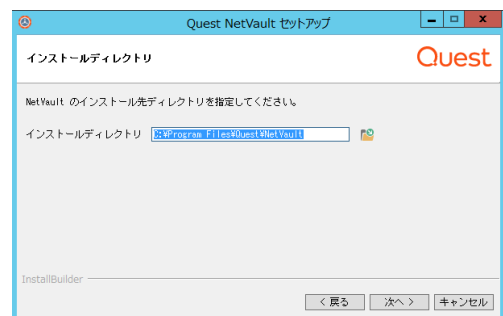
[同意します] を選択しないと次に進めません。



10 「使用許諾契約」に同意したら、次に [インストールディレクトリ] ウィンドウが表示されます。

NetVault クライアントをインストールするディレクトリを指定します。

必要であれば変更をして [次へ] をクリックします。



11 「マシン名」ウィンドウは、NetVault マシン名を指定します。

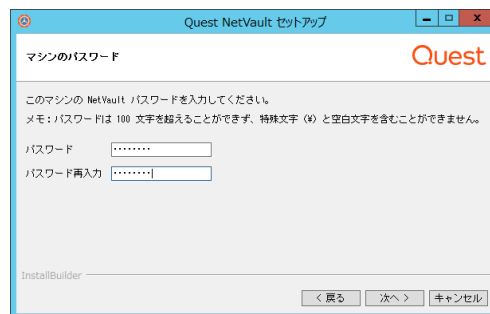
デフォルトではインストールしているマシンのホスト名が表示されます。

必要であれば変更して [次へ] をクリックします。

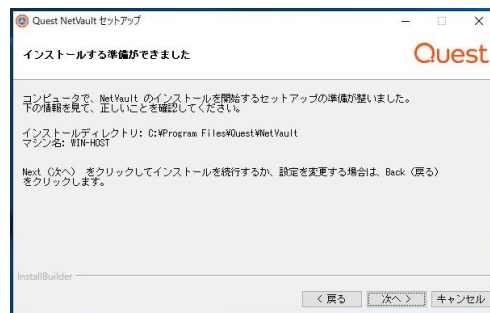


- 12 「マシンのパスワードの選択」ウィンドウに移動します。
- このウィンドウの [パスワード] フィールドにパスワードを入力します。
- 続いて、[パスワードの再入力] フィールドに最初に入力したものと完全に一致するパスワードを入力します。
- [次へ] をクリックして、次に進みます。

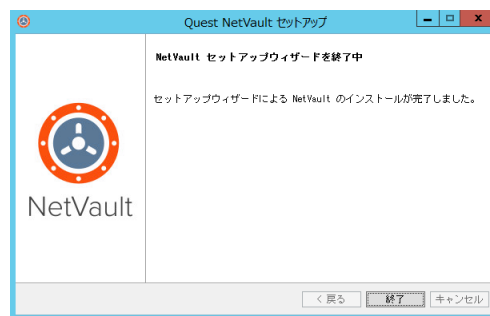
※ここで登録したパスワードはクライアント追加時などで使用しますので、忘れないようにしてください。



- 13 「インストールする準備ができました」ウィンドウが表示されます。
- 設定した内容が表示されますので、内容を確認して [次へ] をクリックします。
- インストールが開始されます。



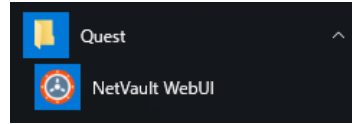
- 14 NetVault インストールが終了すると、「NetVault セットアップウィザードを終了中」ウィンドウが表示されます。[終了] をクリックして終了します。



第3章 : NetVault Console を起動する

NetVault サーバー自身もしくは NetVault サーバーのポート 8443 にアクセスできるマシンのウェブ・ブラウザを使用して NetVault Server Console を起動します。サポートされているブラウザは、インストール要件の「**ブラウザ**」を参照ください。

- 1 Windows Server の場合、NetVault サーバーのインストールが完了するとスタートメニューに「NetVault WebUI」アイコンが作成されます。



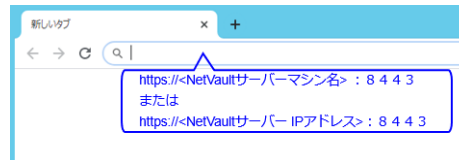
アイコンをクリックしてコンソールを起動します。

または、ブラウザで次の URL を指定してコンソールを起動します。

https://<NetVault サーバーマシン名> : 8 4 4 3

または

https://<NetVault サーバ IP アドレス> : 8 4 4 3

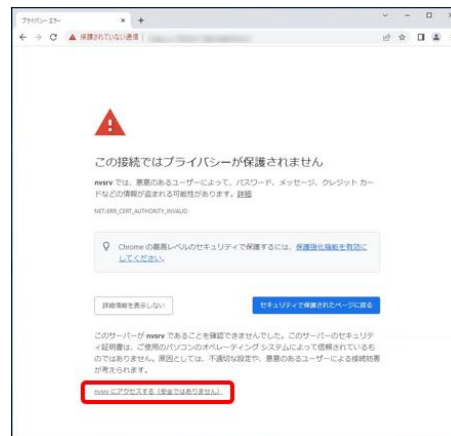


- 2 コンソールを起動すると右図のような画面が表示されることがあります。

[xxx にアクセスする (安全ではありません)] をクリックして継続すると

NetVault Server のログイン画面が表示されます。

※右記画面は Google Chrome での例です。

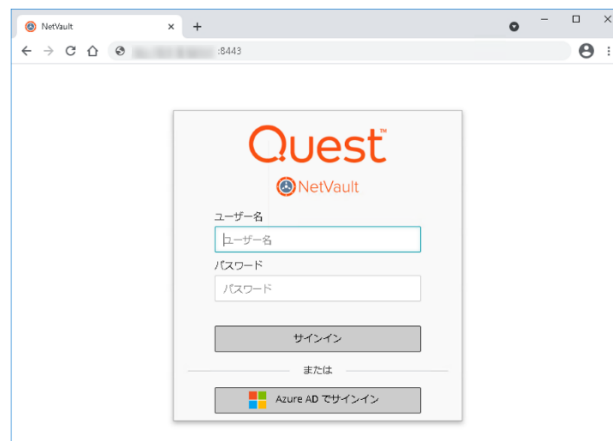


- 3 NetVault Console が無事ブラウザに表示されると、ユーザとパスワードを入力するポップアップが表示されます。

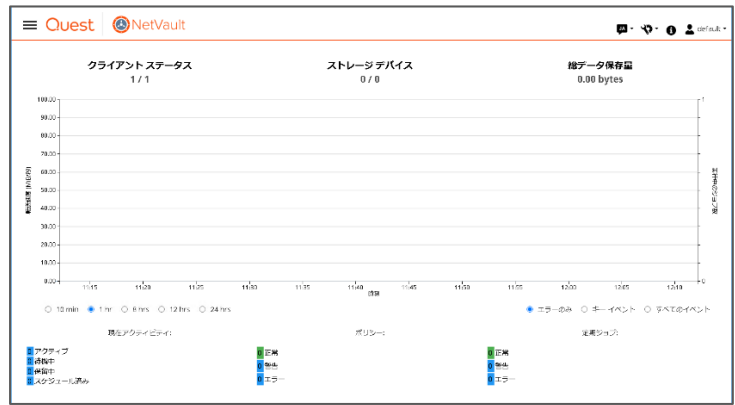
ユーザ名 : **default**

パスワードは無し(空白のまま)

で [サインイン] をクリックします。

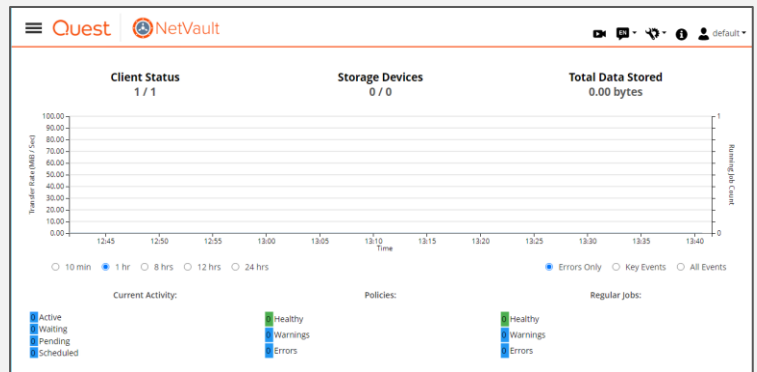


NetVault Console が表示されます。



Memo 1

初めてのログイン時、NetVault Console が英語で表記されている場合があります。



右上の吹き出しアイコンをドリルダウンして言語設定を表示させ [Japanese(ja)] を選択すると日本語表記に変更されます。



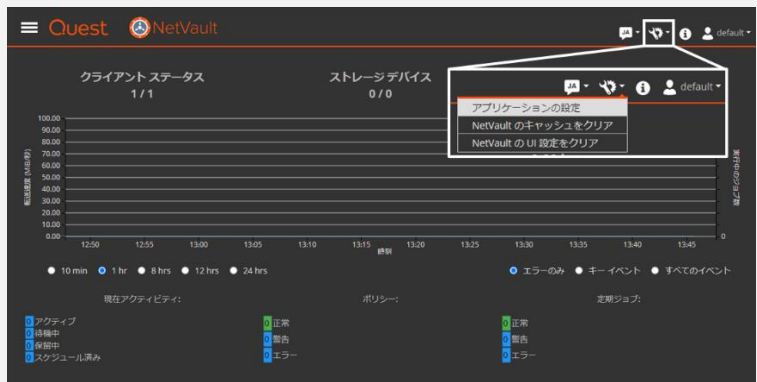
Memo 2

NetVault Console の背景色を黒色で表示することができます。

右上の歯車アイコンをドリルダウンして

[アプリケーションの設定] を表示することにより、

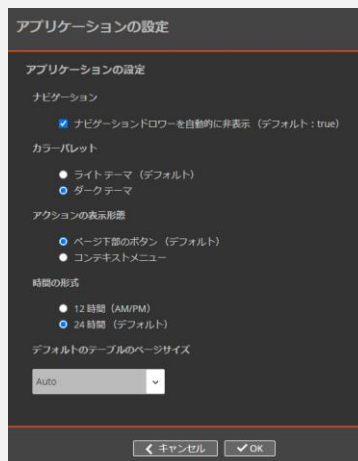
お好みのテーマ（背景色）に変更することができます。



アプリケーションの設定のカラーパレットを [ダークテーマ] に変更すると黒を基調とする背景色に変更されます。

デフォルトは [ライトテーマ] で、白を基調とする背景色になっています。

ナビゲーションの [ナビゲーションドローワーを自動的に非表示] は左サイドメニューを自動で非表示させる機能です。



第4章 : NetVault クライアントを NetVault サーバーに追加する

1 台の NetVault サーバーで、複数の NetVault クライアントのバックアップ／リストアをまとめて行うには、下記手順に従ってバックアップ対象とする NetVault クライアントを NetVault サーバーに追加する作業が必要になります。

4-1. NetVault クライアントを追加する

ここでは、NetVault クライアントの NetVault サーバーへの追加について説明します。

- 1 「第3章 : NetVault Console を起動する」に従い、NetVault サーバー側でコンソールを起動します。

- 2 画面左上にある三本線アイコンをクリックすると左サイドメニューが表示されますのでメニュー項目から [ガイド付き設定] を選択します。

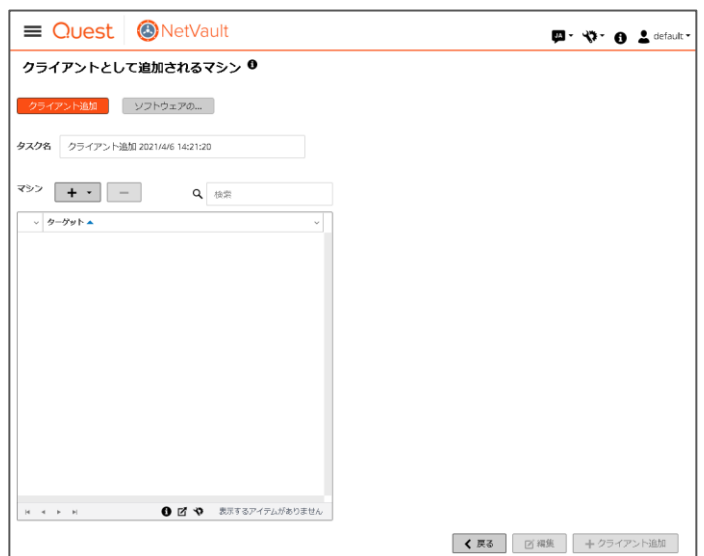
表示された NetVault 設定ウィザード画面で、
[ソフトウェアのインストール / クライアント追加] をクリックします。



- 3 クライアントへのプッシュインストールが可能となっています。ここでは既に Agent がインストールされているクライアントに対して、設定する場合は示します。

「クライアント追加」が選択されていることを確認します。

※ プッシュインストールを実施する場合は、「Quest NetVault インストール・ガイド」を参照ください。



4 「+」 ボタンをドрилダウンしてクライアントの選択方法を指定します。

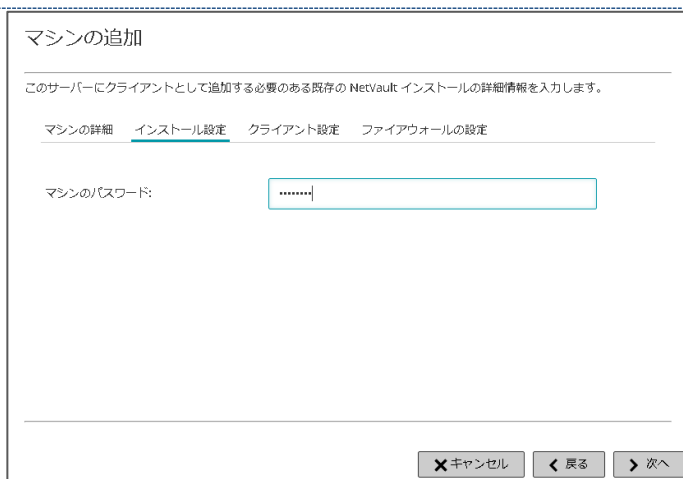
今回は [FQDN または IP] を選択します。



5 「マシンの追加」 ウィンドウから FQDN もしくは IP アドレスを入力します。



6 クライアントと通信ができると「マシンのパスワード」が要求されます。
クライアントインストール時に登録したパスワードを入力します。



7 パスワードが認証できたら、クライアント詳細にそのクライアントが識別できるような任意の文字列を入力します。

(例) Oracle Server 01

また所属するクライアントグループを選択します。
クライアントグループを作成していない場合は、
右のように [Default] が選択されます。

8 ファイアウォールの設定画面では、
ファイアウォール越しではない場合は、
未記入のまま [OK] をクリックします。

ファイアウォール越しの場合は、NetVault が各種通信に
使用するポート項目について使用可能なポート番号の範囲を
入力します。

各項目については、
「Quest NetVault インストレーション・ガイド」を
参照ください。

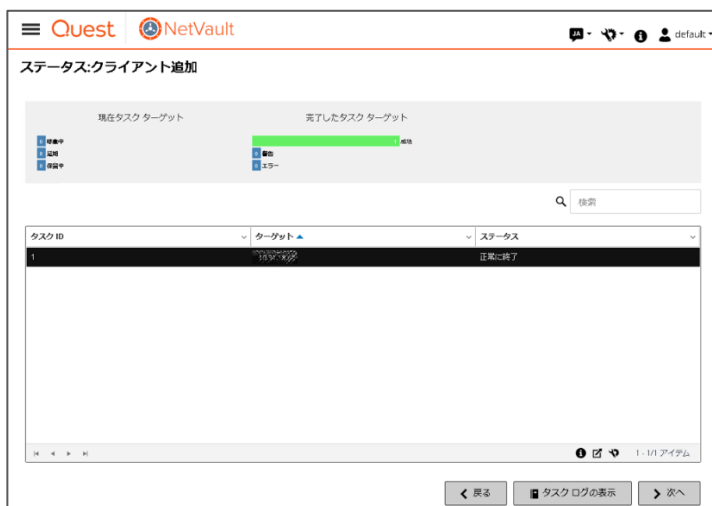
9 すべてが完了しますと右図のようにターゲットに IP アドレスが
表記されます。

同時に複数のクライアントを追加したい場合は、
[5] から [8] の手順を繰り返します。

クライアントを追加する準備ができたなら、
「クライアントの追加」をクリックします。

10 追加が完了すると右図のようにステータスが「正常に終了」となります。

[次へ] を選択するとさらにクライアントを追加することが可能です。



11 追加クライアントがない場合はこの画面で終了となります。



第5章：バックアップ装置の設定を行う

5-1. 仮想テープライブラリを使用する

ここでは、仮想テープライブラリの作成と NetVault サーバーへの追加について説明します。

最新の NetVault 対応単体ドライブ・VTL・テープライブラリリストは下記からダウンロードできます。

<https://support.quest.com/ja-jp/download/downloads?id=6109720>

(NetVault - Supported VTLs, Libraries, Tape and Optical Drives 参照)

- 1 起動した NVBU Console から [デバイス管理] をクリックし、「デバイスおよびストレージ階層の管理」ウィンドウが表示された後、[+デバイス追加] をクリックします。



- 2 「NetVault ストレージ設定ウィザード - ストレージ デバイスの追加」ウィンドウが表示されます。

[仮想テープ ライブラリ/メディアチェンジャ] を選択し、
[次へ] をクリックします。



3 「NetVault 設定ウィザード - 仮想テープライブラリの追加

(1/3)」ウィンドウが表示されます。

仮想テープライブラリを作成するクライアントを選択し、
[次へ] をクリックします。

本ガイドでは NetVault サーバーを選択して VTL を作成します。



4 「NetVault 設定ウィザード - 仮想テープ ライブラリの追加

(2/3)」ウィンドウが表示されます。

仮想テープ ライブラリ作成パラメータを入力します。入力後、
[次へ] をクリックします。

- **新規デバイスを作成するディスク上の位置を選択 :**

(必須) ライブラリを作成するパスを指定します。
(例: /opt, C:\VTL)

- **デバイス名を指定 : (必須) :**

作成したいライブラリの名前を記載します。(例: VTL)

- **5文字のメディア バーコード プリフィックスを選択 :**

任意のメディア バーコードとして初めの5桁目の指定が行えます。
ランダムなデフォルト値が設定されています。

- **メディア容量指定 (GiB 単位) : (必須)**

仮想メディア 1本あたりの容量を設定します。整数のみ入力可。
デフォルト値は 32 です。

- **ドライブ数の選択 : (必須)**

ライブラリに搭載するドライブ数を入力します。デフォルト値は 2。

- **スロット数の選択 : (必須)**

ライブラリに搭載するスロット数を入力します。デフォルト値は 16。



仮想テープライブラリの作成の為に、最終的に使用されるディスク容量は Web GUI 下部にある、「必須合計ディスク空き容量」に表示されますので、作成先ディスクの空き容量の範囲内に収まるようご注意ください。計算方法は、メディア容量 x スロット数 となります。

仮想テープライブラリが作成されます。

デバイスを追加しない場合はこの画面で終了となります。



5

「デバイス管理」を再度クリックし、

「デバイスおよびストレージ階層の管理」ウィンドウに移動すると追加した仮想テープライブラリが

テープ ライブラリ: <NetVault マシン名>: <仮想ライブラリへのパス> ドライブ: # スロット: #

と表示されます。



[▶] をクリックすると、追加された仮想テープライブラリの詳細情報が表示されます。



5-2. オートローダ/テープ ライブラリを使用する

ここでは、オートローダ/テープ ライブラリの NetVault サーバーへの追加について説明します。

- 1 起動した NVBU Console のメニューから
[デバイス管理] をクリックします。
「デバイスおよびストレージ階層の管理」ウィンドウが
表示されます。
右下の [+デバイス追加] をクリックします。



- 2 「NetVault ストレージ設定ウィザード - ストレージ デバイスの追加」ウィンドウが表示されます。

[テープ ライブラリ/メディアチェンジャ] を選択し、
[次へ] をクリックします。



3 「NetVault 設定ウィザード - テープライブラリの追加

(1/3)」ウィンドウが表示されます。

テープライブラリを追加するクライアントを選択し、

[次へ] をクリックします。

画面では NetVault サーバーを選択してテープライブラリを

追加します。



4 「NetVault 設定ウィザード - テープライブラリの追加 (2/3)」

ウィンドウが表示されます。

対象クライアントに接続されているテープライブラリのリストが

表示されます。

追加対象のテープライブラリを選択し、[次へ] をクリックします。



追加されるテープライブラリの情報が表示されます。

下記にある [デバイスをさらに追加...] または

[バックアップジョブ作成...] のどちらかをクリックします。

もし、テープライブラリの情報が表示されない場合、

5 へ進みます。



[情報 ライブラリが正常に追加されました] のメッセージが

表示されます。

これでオートローダ/テープライブラリの追加は完了です。

5 4 でドライブの自動設定が行われた場合、7 へ進みます。

[ドライブを手動で追加...] をクリックします。



6 (1) 「NetVault 設定ウィザード - テープ ライブラリ ドライブのベイへの追加」ウィンドウが表示されます。

テープライブラリを追加するクライアントを選択し、
[次へ] をクリックします。

画面では NetVault サーバーを選択してテープライブラリを追加します。



(2) テープライブラリのベイ 1 に搭載されたドライブの
デバイス名とシリアル番号が表示されますので、
選択し [次へ] をクリックします。



(3) この画面では追加対象ドライブが複数のクライアントに
共有接続されて、共有ドライブとしたい場合、リストされた
クライアントを選択し、[次へ] をクリックしてください。

共有ドライブとしない、もしくは無い場合、何もせず [次へ] を
クリックしてください。



ライブラリに複数のベイがある場合、次のベイに対してドライブを追加します。

上記、(1)～(3)を繰り返して追加してください。

複数のベイが無い場合、もしくは、すべてのベイの設定が終了した場合、次の画面が表示されます。



「以下のテープ ライブラリがフル設定され NetVault に追加されました:」

というメッセージが表示されれば、オートローダ/テープライブラリの追加は完了です。



7

【デバイス管理】を再度クリックし、

「デバイスおよびストレージ階層の管理」ウィンドウに移動すると追加したオートローダ/テープライブラリが

テープ ライブラリ: <NetVault マシン名>: <ライブラリ名> ドライブ: # スロット: # ポート: #

と表示されます。



【▶】をクリックすると、追加されたテープライブラリの詳細情報が表示されます。



第6章：バックアップ・リストアを行う

6-1. バックアップジョブを作成する

ここでは、ファイルシステムプラグインのバックアップジョブについて説明します。

- 1 メニューの [バックアップジョブ作成] をクリックすると、「バックアップ ジョブ作成」ウィンドウが表示されます。



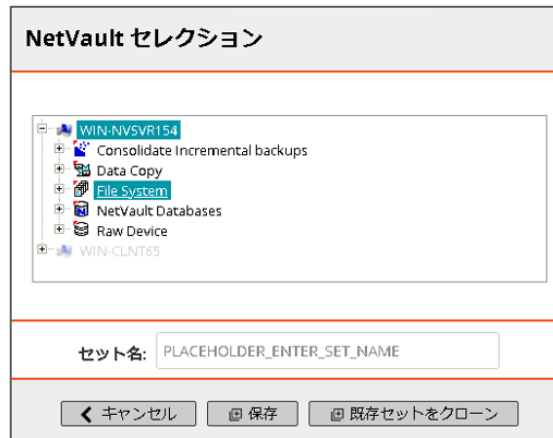
- ジョブ名： バックアップ ジョブの名前を入力します。
- セクション： バックアップ対象を定義したものをセクション セットと呼びます。このセクション セットを新規作成または既存セットを指定します。
- プラグイン オプション： バックアップに使用する NetVault のプラグインのオプション選択を定義したものをプラグイン オプション セットと呼びます。このプラグイン オプション セットを新規作成または既存セットを指定します。
- スケジュール： スケジュール設定を定義したものをスケジュール セットと呼びます。ここではスケジュール セットを新規作成または既存のセットを指定します。
- ターゲット ストレージ： バックアップ先となるターゲット ストレージ設定を定義したものをターゲット セットと呼びます。ここではターゲット セットを新規作成または既存のセットを指定します。
- 詳細設定： 世代管理、セカンダリ コピー作成、スクリプト実行やその他のオプションを設定したものを詳細設定セットとよびます。ここでは詳細設定セットを新規作成または既存セットを指定します。

- 2 セクションの [+] をクリックし、新規作成します。



- 3** バックアップ対象のデータが存在するクライアントをダブルクリックします。そのクライアントにインストールされたプラグインが表示されます。

本ガイドでは、File System プラグインでのバックアップについて説明します。



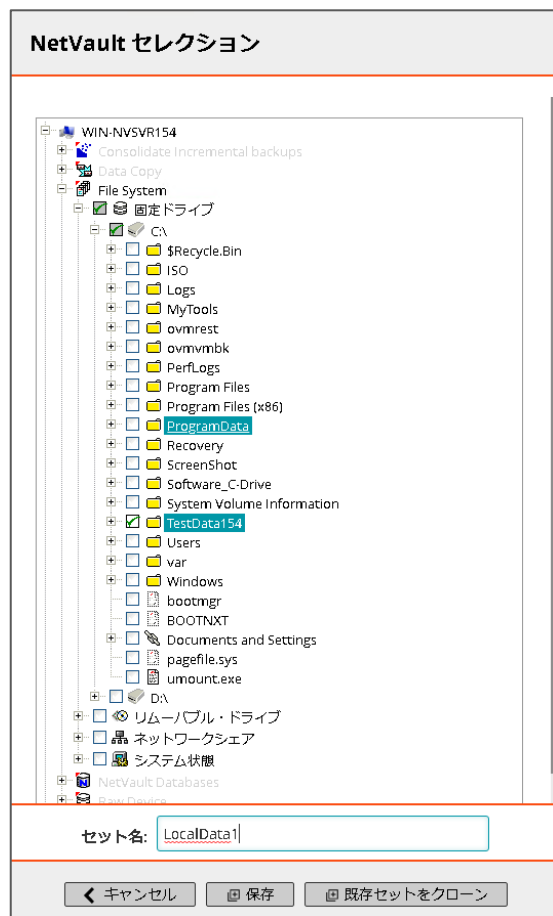
- 4** バックアップに使用するプラグインをダブルクリックすると、バックアップ対象として選択されるデータが表示されます。

[+] のあるアイコンをクリックしていくと、内容が展開されますので、バックアップ対象データが表示されたら、 にチェックして選択します。

バックアップ対象データを選択し終わったら、画面下部にある「セット名」にセレクションの名前を入力して [保存] をクリックします。

セットの名前は他のセットと混同しない一意の名前を推奨します。「バックアップ ジョブ作成」ウィンドウに戻ります。

セレクションの項目に新規作成されたセットが指定されているのを確認します。



- 5** セレクションで選択したプラグインのバックアップオプションを設定するために、「プラグイン オプション」の [+] をクリックします。プラグインによって表示される設定項目は異なります。



6 ファイルレベルバックアップ (FileSystem Plugin) のバックアップオプションが表示されます。

バックアップ方式：標準 / スナップショットベース

バックアップタイプ：フル / 増分 / 差分

バックアップオプション：アーカイブビットを無視

/ 切り捨てられたファイルを無視

/ バックアップ中に変更されたファイルを確認

/ マウントポイントを使用してバックアップ

/ 再開できるバックアップを有効化

/ バックアップ中にマルチストリームを利用する

バックアップ・ログのパス []

必要に応じて上記オプションをそれぞれ選択します。

デフォルト設定から変更した場合は、画面下部にある

「セット名」にオプションの名前を入力して [保存] をクリックします。

セットの名前は他のセットと混同しない一意の名前を推奨します。

バックアップ ジョブ作成画面に戻ります。

プラグイン オプションの項目に新規作成されたセットが指定されているのを確認します。

7 「バックアップジョブ作成」ウィンドウで、スケジュールの [+] をクリックします。

8 スケジュールタイプを選択します。

タイプによりスケジュールオプションの設定項目の表示が変わります。

- 即時
- 1 回のみ
- 繰り返し
- トリガ

「1回のみ」を選択した場合：

開始時刻に時刻 / 開始に日付

を指定します。

スケジュール方法：

特定日 / 特定曜日 / 特定日付 / 指定日

を選択します。

The screenshot shows the 'スケジュール' (Schedule) configuration page. At the top, 'スケジュールタイプ' (Schedule Type) has '1回のみ' (One-time) selected. Below, 'スケジュールオプション' (Schedule Options) shows '開始時刻' (Start Time) as 17:26 and '開始' (Start) as 2021/04/06. Under 'スケジュール方法' (Schedule Method), '特定日' (Specific Day) is selected. The 'ジョブオプション' (Job Options) section includes 'ジョブのリトライ' (Job Retries) set to 1 and 'リトライ間隔' (Retry Interval) set to 01:00. 'ジョブ優先順位' (Job Priority) is set to 30. At the bottom, there is a 'セット名' (Set Name) field with the placeholder 'PLACEHOLDER_ENTER_SET_NAME' and buttons for 'キャンセル' (Cancel), '保存' (Save), and '既存セットをクローン' (Clone Existing Set).

「繰り返し」を選択した場合：

開始時刻に時刻 / 開始に日付

を指定します。

スケジュール方法：毎日 / 特定曜日 / 特定日付 / 毎

を選択します。

The screenshot shows the 'スケジュール' (Schedule) configuration page. 'スケジュールタイプ' (Schedule Type) has '繰り返し' (Repeat) selected. In the 'スケジュール方法' (Schedule Method) section, '毎日' (Daily) is selected. The 'ジョブオプション' (Job Options) section is identical to the previous screenshot, with 'ジョブのリトライ' (Job Retries) at 1 and 'リトライ間隔' (Retry Interval) at 01:00. The 'セット名' (Set Name) field and bottom buttons are also present.

例) 毎週土曜にフルバックアップ、月曜から金曜に増分バックアップ
を行う場合、フルバックアップジョブのスケジュールは、

スケジュール方法：特定曜日

オプション：日：土曜日

The screenshot shows the 'スケジュール' (Schedule) configuration page for a weekly backup job. 'スケジュールタイプ' (Schedule Type) has '繰り返し' (Repeat) selected. '開始時刻' (Start Time) is 23:50 and '開始' (Start) is 2017/12/09. Under 'スケジュール方法' (Schedule Method), '特定曜日' (Specific Day) is selected. In the 'オプション' (Options) section, under '日' (Day), '土曜日' (Saturday) is selected. Under '週' (Week), '1番目' (1st) is selected. The 'セット名' (Set Name) field and bottom buttons are also present.

増分バックアップジョブのスケジュールは

スケジュール方法：特定曜日

オプション：日：

月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日

のように設定します。

「トリガ」を選択した場合：

トリガ名を指定します。

※メモ：トリガ名を設定したジョブは、NetVault の CLI

nvtrigger トリガ名

で外部のスケジューラから起動させることが可能です。

9

スケジュールを設定したら画面下部にある「セット名」に

スケジュールの名前を入力して [保存] をクリックします。

セットの名前は他のセットと混同しない一意の名前を推奨します。

バックアップ ジョブ作成画面に戻ります。スケジュールの項目に

新規作成されたセットが指定されているのを確認します。

10

バックアップ先のデバイスを設定するために、

「ターゲット ストレージ」の [+] をクリックします。

11

バックアップターゲット画面にて選択項目は以下になります。

- デバイスセレクション
- メディアオプション
- メディア共有

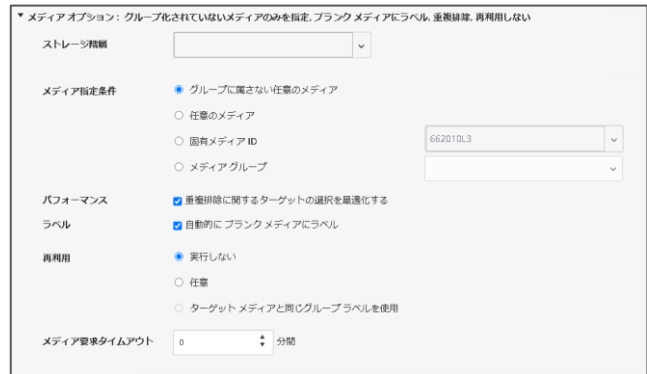
「デバイス セレクション」ウィンドウで

「デバイス指定」を選択し、使用するデバイスの選択が可能です。
バックアップ設計によってはドライブの利用制限等がある場合に有効に利用できます。



「メディア オプション」ウィンドウで

メディア設定条件、ラベル条件、再利用可否等の設定が可能です。



「メディア共有」ウィンドウで以下のオプションを利用可能です。

- バックアップを必ずターゲットメディアの先頭に書き込み
- メディアをバックアップ以降の書き込みから保護
- 最低空き容量 [0] ギガバイトのメディアのみ利用



12

デバイスを設定したら画面下部にある「セット名」に名前を入力して「保存」をクリックします。
セットの名前は他のセットと混同しない一意の名前を推奨します。
「バックアップ ジョブ作成」ウィンドウに戻ります。
「ターゲット ストレージ」の項目に新規作成されたセットが指定されているのを確認します。



13

「詳細設定」の「+」をクリックします。



14 「詳細バックアップ オプション」 ウィンドウで選択できる項目は

以下になります。

- バックアップ寿命
- 詳細設定
- セカンダリ コピー
- プレ&ポストスクリプト
- イベント



15 バックアップ寿命の画面から、アーカイブ、バックアップ寿命の

設定を行うことができます。

デフォルトでは、バックアップを破棄しない設定になっているので

必要に応じて、バックアップ寿命を設定します。

設定したら、「セット名」にセットの名前を入力して [保存] をクリックします。

セットの名前は他のセットと混同しない一意の名前を推奨します。

「バックアップ ジョブ作成」 ウィンドウに戻ります。

「詳細設定」の項目に新規作成されたセットが指定されているのを確認します。



16 すべての設定が完了し「バックアップ ジョブ作成」ウィンドウに

戻ったら、「保存&実行」をクリックしバックアップを実行します。

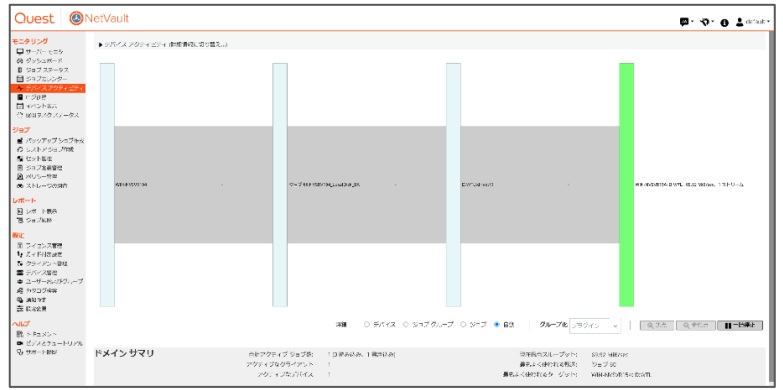


17 ジョブのアクティビティを参照する場合は [ジョブステータス] を

クリックして確認します。



18 バックアップデータがデバイスへ書き込んでいる状況を確認する場合、
[デバイスアクティビティ] をクリックして、表示内容を確認ください。

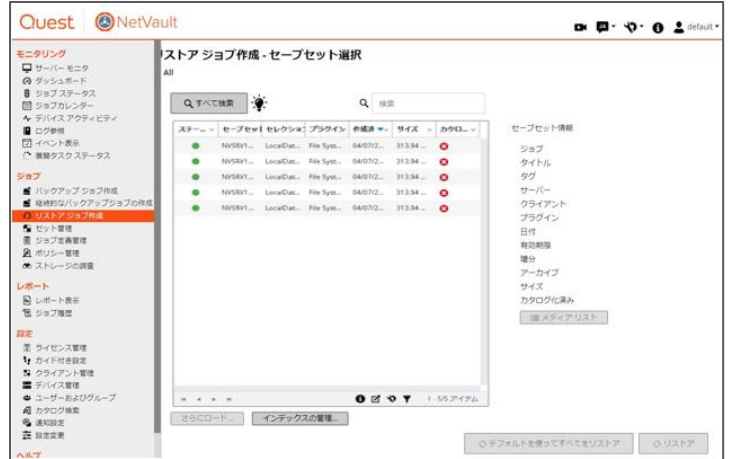


6-2. リストアジョブを作成する

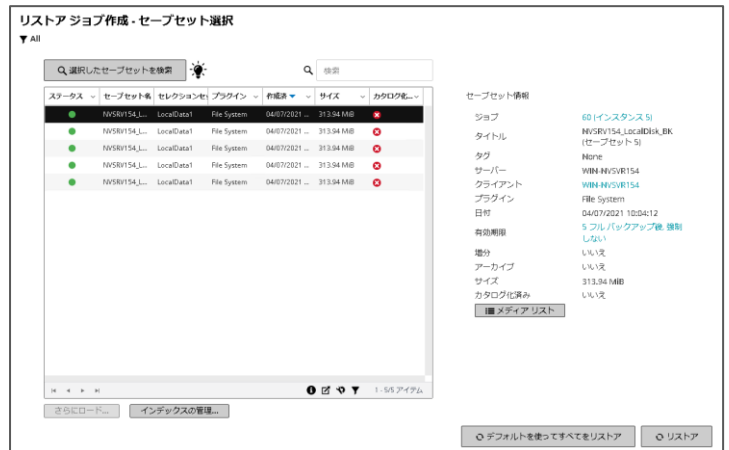
ここでは、ファイルシステムプラグインのリストアジョブについて説明します。

- 1 メニューの「リストア ジョブ作成」をクリックすると、「リストア ジョブ-セーブセット選択」ウィンドウが表示されます。

※「カタログ化済み」が[X]になっていますが、この環境ではカタログ化の設定を行っていないので、問題ありません。



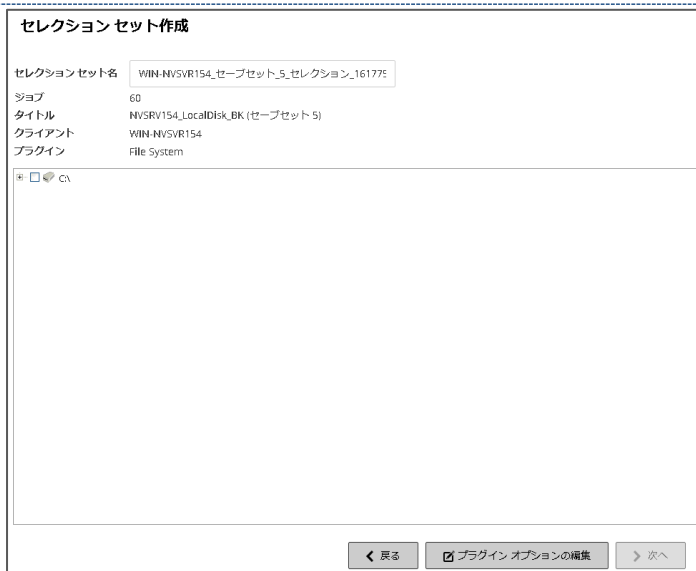
リストア対象のセーブセットを選択し「リストア」をクリックします。



2 「セレクション セット作成」 ウィンドウで

【プラグイン・オプションの編集】

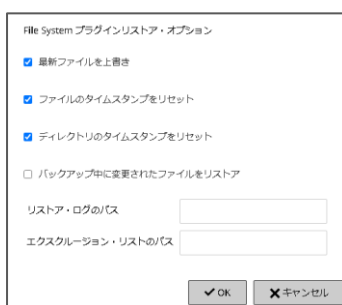
をクリックします。



3 「File System プラグインリストア・オプション」 ウィンドウで

必要なオプションを選択 & 入力し 【OK】 をクリックします。

「セレクション セット作成」 ウィンドウに戻ります。



4 「セレクション セット作成」 ウィンドウでリストア対象を選択し、

【次へ】 をクリックします。



Memo

リストア先のフォルダー名を変更する場合は、該当フォルダーでマウスの左ボタンをクリックし、【名前変更...】から変更します。



「名前変更」では、指定した名前で元の位置にリストアされます。

例) c:\¥¥LocalData1 -> c:\¥¥NewName

「再配置」では、指定した場所にリストアされます。

例) c:\¥¥LocalData1 -> c:\¥¥NewLocation¥¥LocalData1

名前変更/再配置

名前変更/再配置するアイテム C:\LocalData1

名前変更 アイテムの新しい名前

再配置 アイテムの新しい場所

[名前変更] ボックスを使用すると、アイテム名は変更されますが、オリジナルの位置へリストアされます。[再配置] ボックスを使用すると、アイテム名は保持されますが、リストア位置を変更することができます。アイテムを名前変更および再配置するには、両方のボックスを入力します。すべてのアイテムで両方のオプションがサポートされているわけではありません。

リセット OK キャンセル

セクションセット作成

セクションセット名 NVBU-HOL_セーブセット_5_セクション_154209737

ジョブ 64

タイトル LocalDataBK (セーブセット 5)

クライアント NVBU-HOL

プラグイン File System

LocalData1 (名前が変更されました: NewName)

セクションセット作成

セクションセット名 NVBU-HOL_セーブセット_5_セクション_154209694

ジョブ 64

タイトル LocalDataBK (セーブセット 5)

クライアント NVBU-HOL

プラグイン File System

LocalData1 (再配置されました: c:\NewLocation)

5 「セクション セット作成」ウィンドウで「ジョブ名」を入力し

【保存 & 実行】をクリックしジョブを実行します。

リストアジョブ作成

ジョブは、セクション、スケジュールなどのオプション「セット」で構成されています。多数のジョブが共通のセットを共有することがあるため、このように定義されています。このページでは既存のセットから選択または新しいセットを作成することができます。(実行) ボタンが有効になる前に、各セットタイプおよびジョブ名にはエントリが必要です。

ジョブ名 NVSRV154_LocalData_Restore

セクション WIN-NVSVR154_セーブセット_5_セク... + 新規作成

クライアント指定 WIN-NVSVR154 + 選択

スケジュール Schedule1 + 新規作成

ソースオプション 任意のデバイス + 新規作成

詳細設定 選択したバックアップからリストア + 新規作成

< 戻る 保存 保存 & 実行

ジョブのアクティビティを参照する場合は [ジョブステータス] を

選択し、右の画面で確認します。

Quest NetVault

ジョブアクティビティ

ジョブステータス

Start Time: 開始 03/31/2021 09:57:00

開始時間	ジョブタイプ	クライアント	タイプ	ID	インスタンス	次のランタイム	実行	現在のステータス	
04/07/20...	NVSRV15...	File System	WIN-NVSVR154	リストア	01	イン...	実行しな...	313.82 M...	リストア完了
04/07/20...	NVSRV15...	File System	WIN-NVSVR154	バックアップ	01	イン...	実行しな...	313.84 M...	バックアップジョブ完了

Quest
Join the Innovation.

第7章：ライセンスの登録方法

ここでは、ライセンスの登録方法について説明します。

NetVault 13.0 以降、各マシンにライセンスを登録するのではなく、NetVault サーバーにライセンス（ライセンスファイル）を登録してライセンスを管理しています。

ただし、SmartDisk については、ライセンスキーとして提供され、使用するマシンにライセンスを登録する必要がありますので、ご注意ください。

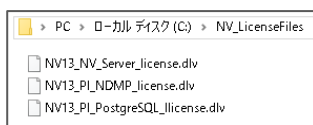
ライセンスファイルの拡張子は「.dlv」です。

本ガイドでは、NetVault 13.1.x へのライセンス登録方法について説明します。ライセンスファイルの取得方法については説明しておりませんので、ご了承ください。

評価版をご利用の場合は、ライセンス登録は必要ありません。

7-1. ライセンスの登録

- 1 ライセンス登録を行うマシンの任意の場所にライセンスファイルを置き、「第3章：NetVault Console を起動する」に従い、NetVault サーバー側でコンソールを起動します。



- 2 メニューから「ライセンス管理」を選択します。

「ライセンス管理」ウィンドウが表示されます。



本環境は評価版として使用していたので、

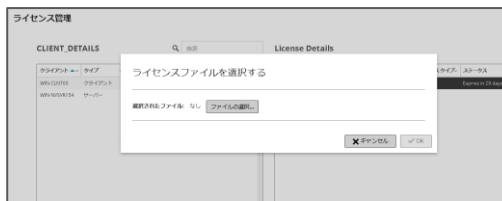
ライセンス管理画面右側の「License Details」の

ライセンスタイプが「Trial」になっています。

- 3 (1)
この環境に「Perpetual」ライセンスを登録します。
ライセンスを登録するために、「ライセンスのインストール」をクリックします。

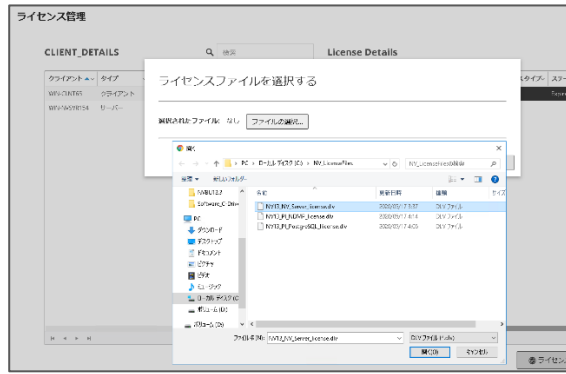


- (2)
「ライセンスファイルを選択する」ウィンドウが表示されるので、
「ファイルの選択...」をクリックします。



(3)

登録するライセンスファイルを選択し、[開く] をクリックします。



(4)

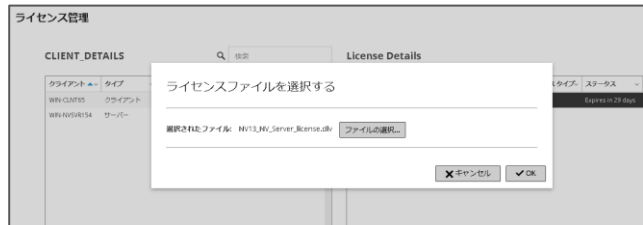
選択されたファイルを確認して [OK] をクリックして登録します。

登録に成功すると

“ライセンスは正常にインストールされました”

のメッセージボックスが表示されますので、[X] をクリックして

メッセージボックスを消します。

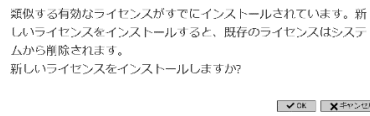


ライセンスファイルが複数ある場合は、

上記 (1) ~ (4) の操作を繰り返します。

Memo

評価ライセンスなど既にライセンスが登録されていて、ライセンスを上書きする場合は、左のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックして登録を進めます。



4

登録されたライセンスは「License Details」に表示されます。

製品名	ライセンスキー	ライセンスタイプ	ステータス	有効期限日付	ライセンス容量
NetVault Server Enterprise Edition I	[Redacted]	Perpetual	N/A	N/A	N/A
NetVault Plugin for PostgreSQL	[Redacted]	Perpetual	N/A	N/A	N/A
NetVault Plugin for NDMP	[Redacted]	Perpetual	N/A	N/A	N/A